



2025 年 6 月 25 日

各 位

会 社 名 セーラー広告株式会社
代 表 者 代表取締役社長 香川 裕史
(コード 2156 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員総務局長 西分 太郎
(電話 087-825-1156)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、2025 年 6 月 25 日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を評価し、改善に向けた取組状況をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社グループの現状分析

2025 年 3 月末の当社グループ連結の PBR は 0.8 倍で 1 倍割れとなっており、過年度におきましても 0.6～0.7 倍程度の水準で推移しております。2023 年 3 月末の PER は 8.2 倍ですが、2025 年 3 月期は 53.3 倍となっており、各年度によって大きく変動する状況にあります。

このように PBR が低い水準となっていることや PER の変動が激しいことは、当社グループが毎年安定した収益を継続して確保できていない結果であり、かつ、成長戦略に関して株主の理解を十分に得られていないため当社グループの将来性が評価されていない結果であると分析しております。

【連結経営指標等】

区 分	2021 年 3 月期	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期
総売上高（百万円）	6,271	6,672	7,561	7,625	7,968
営業利益（百万円）	△132	59	168	37	9
経常利益（百万円）	△83	75	187	62	84
当期純利益（百万円）	△79	△25	136	△74	27
1 株当たり当期純利益（円）	△20.92	△6.68	36.03	△19.55	6.50
1 株当たり純資産（円）	477.74	462.78	496.03	462.12	461.19
期末株価（円）	330	260	298	317	347
PER（倍）	—	—	8.2	—	53.3
PBR（倍）	0.7	0.6	0.6	0.7	0.8

※PBR および PER は各年度最終取引日の終値をもとに算出しております。

2. PBR 改善に向けた方針・目標

上記分析を踏まえ、株主をはじめ各ステークホルダーから当社グループの成長性を適切に評価してもらうことを基本的な方針として、引き続き、安定した収益の確保と PBR および PER について東証スタンダード市場の平均値（参考：2025 年 3 月の東証スタンダード市場平均 PBR：0.8 倍 PER：12.8 倍）を上回る水準を常時確保することを第一に、PBR については 1 倍を上回る水準を目標としてまいります。

3. 具体的な取り組み

当社グループにおきましては、上記方針・目標を実現するためには、安定した収益の確保が最重要課題であると認識し、以下の取り組みに注力し、資本コストや株価を意識した経営の実現に取り組んでまいります。

(1) 事業戦略

今年（2025 年）4 月から、代表取締役社長が交代となったことを機に、新たな中期経営方針を掲げ、当社グループ全体として、次世代デジタル技術を活用したマーケティングデザイン企業への進化を目指してまいります。地域に密着した広告会社としての強みを活かしながら、データや AI などを活用したコンサルティング型ソリューションの拡充と、人材・組織の強化を進め、経営資源の投入により事業領域の拡大を図り、ビジネスの高付加価値化を進め、グループ全体の収益の増強を図ってまいります。

【中期経営方針重点施策】

- ①次世代デジタル技術を活用した付加価値提案力の向上
- ②地域資源を活用したプロモーション活動の展開
- ③コミュニケーションビジネスと親和性の高い新規事業への取り組みの推進
- ④事業エリアの拡大
- ⑤強みを活かした多面的な取り組みの強化

（ご参考）当社ウェブサイト『中期経営方針』

<https://www.saylor.co.jp/ir/midtermpolicy.html>

(2) 資本戦略

事業活動によって獲得したキャッシュにつきましては、デジタル領域や新規事業領域の拡大に向けた人的資本の増強（人材の採用・育成）のほか、社内 DX の推進など経営基盤の強化に充当してまいります。

また、安定配当を維持しながら中長期的な視点で業績に応じた利益還元を検討し、自己株式の活用を含めた M&A の推進などによって、利益成長に向けた新規投資と安定した株主還元の最適なバランスを検討してまいります。

なお、2025 年 1 月 6 日付で発行いたしました、自己株式を活用した第三者割当による第 4 回新株予約権（行使価額修正条項付）の権利行使によって調達する資金につきましては、成長分野への新規

参入や、地方の有力企業との連携等による新たな収益獲得の機会を目指した中長期的な企業価値向上への取り組み（以下①②）に充当してまいります。

①M&A又は戦略的提携のための成長投資資金

②新規事業のための成長投資資金

（ご参考）2024年12月19日公表プレスリリース『自己株式を活用した第三者割当による第4回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行に関するお知らせ』および『自己株式を活用した第三者割当による第4回新株予約権発行に関する補足説明資料』

(3) IR 戦略

当社ウェブサイトを活用し、適時開示に基づく財務情報のほか、サステナビリティなどの非財務情報を含めた情報発信の充実に引き続き取り組んでまいります。

こうした活動をとおして、株主・投資家の皆さまに当社グループの魅力や成長戦略に対する理解を深めていただけるよう努めてまいります。

①情報開示の充実による経営方針や成長戦略理解の促進

②サステナビリティなどの非財務情報の発信強化

（ご参考）当社ウェブサイトIR情報

<https://www.saylor.co.jp/ir/>

以上